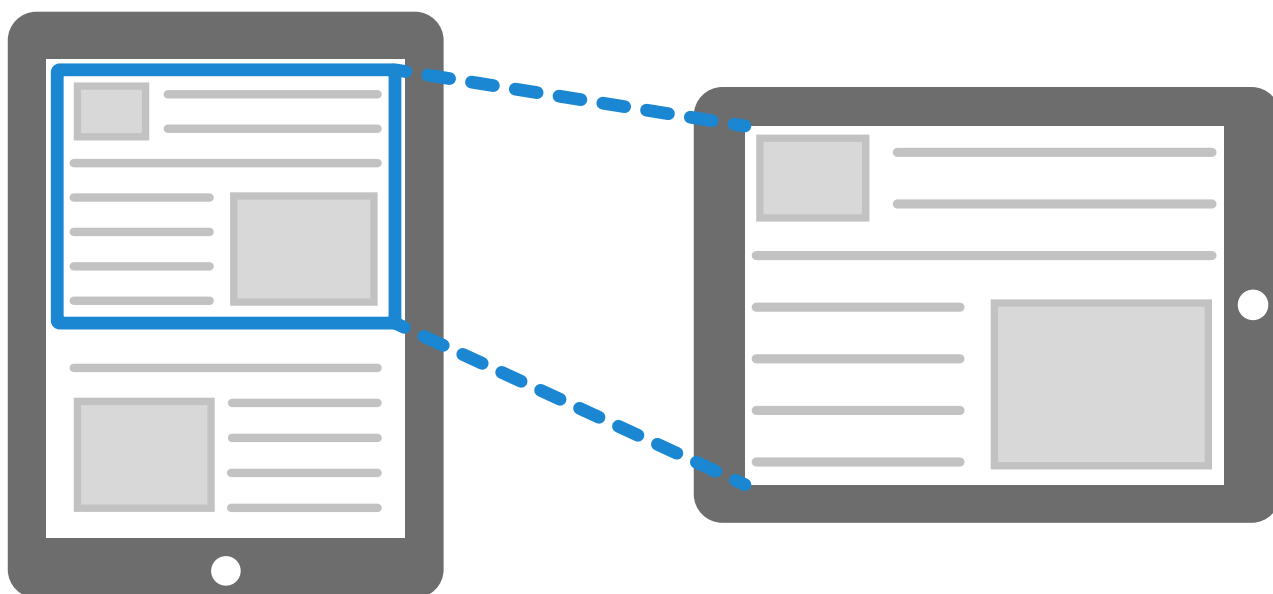


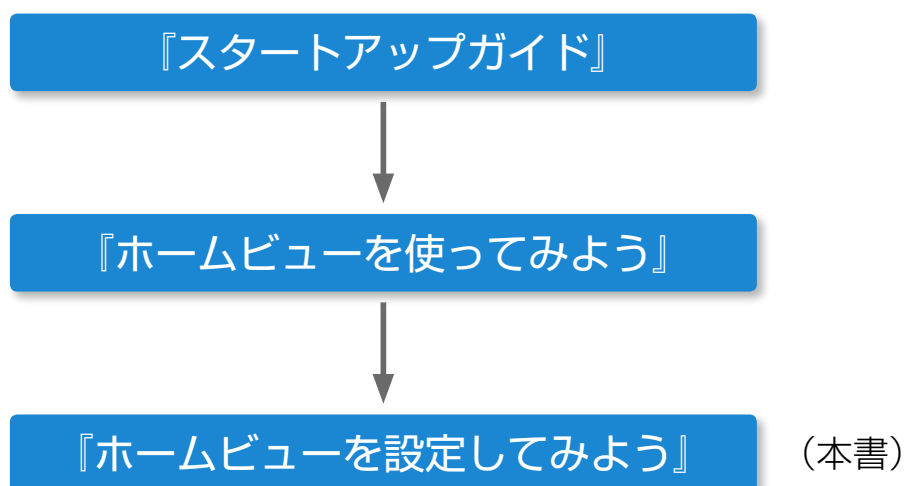
Smooth Reader

ホームビューを設定してみよう

1. 余白を除いた部分をホームビューに設定する 3
2. 横書きの文書にホームビューを設定する 5
3. ホームビューを最初の状態（ページ全面）に戻す 9
4. (補足) 見開き 2 ページの設定を解除する 10



Smooth Reader に付属している解説書は、以下の順番で読み進めてください。

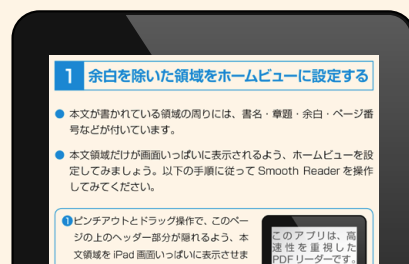


- Smooth Reader は、拡大表示のままページを読み進める**ホームビュー機能**を持っています。小さな文字の本でも快適に読書できます。
- ホームビュー機能を使うには、ページの中の**一部の領域をホームビューに設定**します。
- ページをめくると、**ホームビューの範囲が画面いっぱいに拡大して表示**されます。その分、文字が大きくなって読みやすくなります。
- ホームビューの拡大率のまま、**縦方向と横方向のフリック操作だけで読み進める**ことができます。
また、下辺の領域をタップするだけで読み進めることもできます。

1 余白を除いた領域をホームビューに設定する

- 本文が書かれている領域の周りには、書名・章題・余白・ページ番号などが付いています。
- 本文領域だけが画面いっぱいに表示されるよう、ホームビューを設定してみましょう。以下の手順に従って Smooth Reader を操作してみてください。

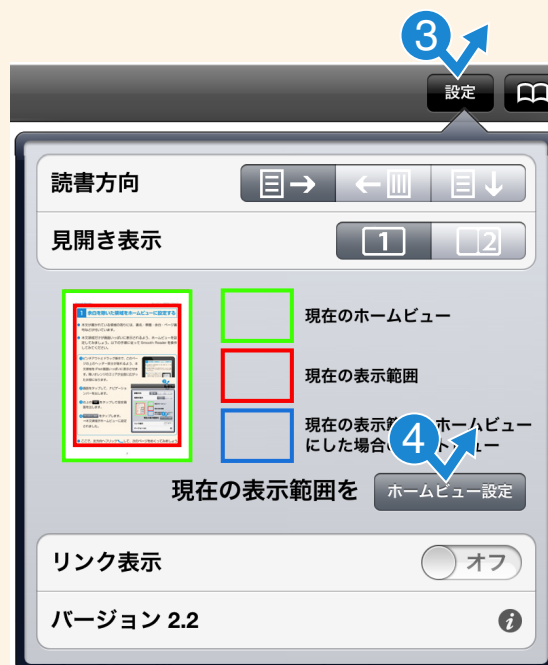
①ピンチアウトとドラッグ操作で、このページの上のヘッダー部分が隠れるよう、本文領域を iPad 画面いっぱいに表示させます。薄いオレンジのエリアが全面に広がった状態になります。



②画面をタップして、ナビゲーションバーを出します。

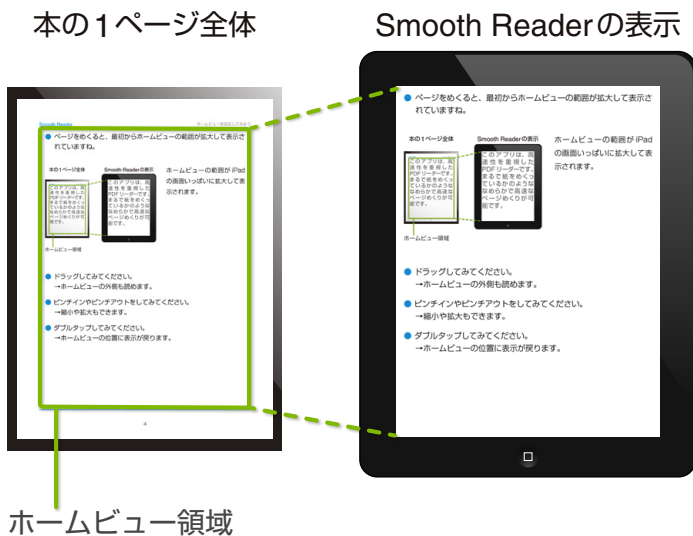
③右上の **設定** をタップして設定画面を出します。

④ **ホームビュー設定** をタップします。
→本文領域がホームビューに設定されました。



- ここで、左方向へフリックして、次のページをめくってみましょう。

- ページをめくると、最初からホームビューの範囲が拡大して表示されていますね。



ホームビューの範囲が iPad の画面いっぱいに拡大して表示される。

- ドラッグしてみてください。
→ホームビューの外側も読めます。
- ピンチインやピンチアウトをしてみてください。
→縮小や拡大もできます。
- ダブルタップしてみてください。
→ホームビューの位置に表示が戻ります。

2

横書きの文書にホームビューを設定する

- パソコンで読んだりプリントアウトして読むことを想定した文書の場合、本文の周りの余白を除いただけでは十分に文字が大きくなりません。

そこで、以下の手順に従って、iPad を横置きにしてホームビューを設定してみましょう。

- 1 iPad を 90 度回転させ横置きにします。

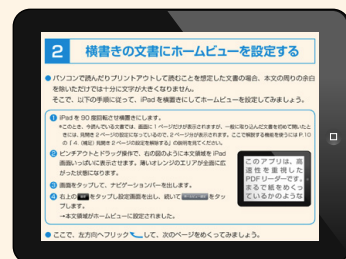
※このとき、今読んでいる文書では、画面に 1 ページだけが表示されますが、一般に取り込んだ文書を初めて開いたときには、見開き 2 ページの設定になっているので、2 ページ分が表示されます。ここで解説する機能を使うには P.10 の「4. (補足) 見開き 2 ページの設定を解除する」の説明を見てください。


- 2 ピンチアウトとドラッグ操作で、右の図のように本文領域を iPad 画面いっぱいに表示させます。薄いオレンジのエリアが全面に広がった状態になります。

- 3 画面をタップして、ナビゲーションバーを出します。

- 4 右上の **設定** をタップし設定画面を出し、続いて **ホームビュー設定** をタップします。

→本文領域がホームビューに設定されました。



- ここで、左方向へフリック  して、次のページをめくってみましょう。

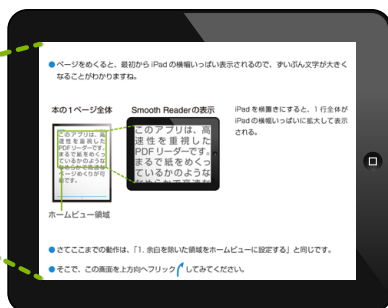
- ページをめくると、最初から iPad の横幅いっぱい表示されるので、ずいぶん文字が大きくなるのがわかりますね。

本の1ページ全体


Smooth Readerの表示




ホームビュー領域



iPad を横置きにすると、1 行全体が iPad の横幅いっぱいに拡大して表示される。

- さてここまでの動作は、「1. 余白を除いた領域をホームビューに設定する」と同じです。
- そこで、この画面を上方向へフリック  してみてください。
→表示範囲が、同じページの下の部分に移動していますね。
- この設定の場合、上方向、または下方向へのフリックで、一画面分だけ表示範囲を移動させることができます。
- つまり、以下の操作で、拡大表示したまま本を読み進めることができるようになります。

左方向へのフリック  → 次のページをめくる

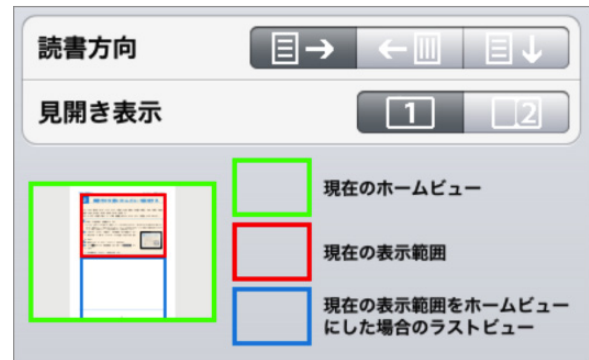
上方向へのフリック  → 表示範囲を下に移動する


- 今度は、タップ操作だけで読み進めてみましょう。
- 画面タップしてナビゲーションバーを出し、右上の **設定** をタップして設定画面を出します。

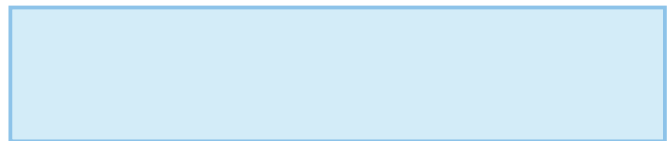
- 右の図のように縮小画面に青枠が出ているか確認してください。

もし青枠が出ていない場合は、ホームビュー（赤枠）が大きすぎるか下に行き過ぎているのが原因です。赤枠の下に同じ大きさのビューを置けるスペースを空ける必要があります。

設定画面を閉じてピンチアウトとドラッグ操作で、拡大したり少し上のほうが見えるように移動したりして、青枠が出るようにホームビューの位置・大きさを直してください。

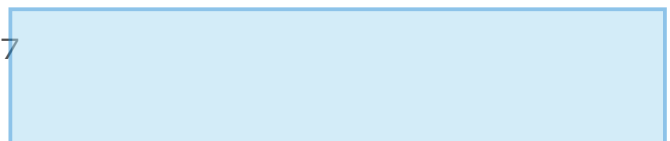


- ここで、画面の下辺右の  の部分をタップしてみてください。
→同じページの下側が表示されます。



→同じページの下側が表示されます。

- 続いて、同じ下辺右の  の部分をもういちどタップします。



→次のページの上側（ホームビュー）が表示されます。

- このように下辺右の部分をタップしていただくと、本を読み進めることができます。
- **タップ操作で読み進めるには、前のページ で設定画面を確認したようにラストビュー（青枠）が置けるようホームビュー（赤枠）を設定する必要があります。**
一方、フリック操作で読み進めるだけでよければ、ラストビューが見えるような設定をする必要はありません。
- ここで、画面を縦置きに戻してみましよう。
→横置きでは横長のホームビューを設定しましたが、縦置きでは最初に設定した縦長のホームビューが維持されています。
- ホームビューは、iPad の向きを縦置きしたときと横置きしたときで、それぞれ別々の設定が維持されます。判型と読み方に応じてそれぞれの向きで最適のホームビューに設定してください。

3 ホームビューを最初の状態(ページ全面)に戻す

- 横置きの際に、ホームビューを最初の状態、つまりページ全面に設定されている状態に戻してみましよう。以下の手順に従って Smooth Reader を操作してみてください。

- ① iPad をもういちど横置きにします。
- ② ピンチインして縮小し、iPad の画面内に、ヘッダー（書名）やフッター（ページ番号）も含めて、ページ全体が表示されている状態に戻します。
- ③ 画面をタップして、ナビゲーションバーを出します。
- ④ 右上の **設定** をタップして設定画面を出します。
- ⑤ **ホームビュー設定** をタップします。

- これで、ホームビューが最初の状態に戻りました。前のページに戻っていくと、ホームビュー機能によりページの一部が拡大表示されていたことがわかります。

4 (補足) 見開き 2 ページの設定を解除する

- 一般に取り込んだ文書を初めて開いたときには、横置きにすると 2 ページ分が表示されます (見開き 2 ページ)。
- こうしたケースでホームビューを設定する場合は、以下の手順で見開きの設定を解除してください。

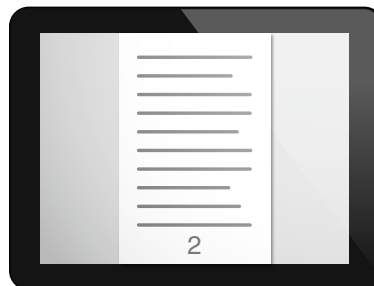


① 画面をタップして、ナビゲーションバーを出します。

② 右上の **設定** をタップして設定画面を出します。

③ 見開き表示の **1** をタップします。

→見開き設定が解除され、1 ページだけが表示されます。



Smooth Reader ホームビューを設定してみよう

2012年12月 初版

パーソナルメディア株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-29-1 コイズミビル

<http://www.personal-media.co.jp/smoothreader/>

E-mail: sr-sales@personal-media.co.jp

©2012 Personal Media Corporation
